



Sekisyo 通信



R6・12.3

NO, 22

文責：校長 酒井



めざす児童像：夢や希望を追い求め、失敗も学びにかえる子



☆☆☆ 個別面談・学校アンケートありがとうございます。

ライオンズの森を彩った、銀杏の木も枝だけになりました。猛暑の夏がついこの前だったのに、あっという間に秋が過ぎ、冬がやってきました。数日前には、通勤途中「雪虫」を見つけました。

さて、先月の個別懇談では、平日の貴重な時間を割いていただき、ありがとうございました。わずかに15分の話し合いでしたが、子ども達の学校や家庭での様子を共有するだけでなく、今後の双方の役割を確認することもでき、有意義な時間となりました。実施後スタッフから「もうすこし早い時期に実施しても…」との声も上がりました。顔を合わせることで、お互いの思いも通じやすく、子ども達を育てる上での建設的な話し合いができたこと嬉しく思います。

先週から実施している、学校アンケートへの回答もお世話になっています。パソコンやスマホで等の回答は、集計に手間や時間がかからず、いただいた評価やご意見をすぐにスタッフ間で共有し、次に生かせる利点があります。多忙化解消の手立ての一つとしても有効ですので、ご理解をお願いします。

今回の学校アンケートですが、昨年度までとは内容を改め、学校経営ビジョンとリンクしたものとしました。年度初めに掲げた本校の教育がどのように保護者の皆様に理解され、どのように評価されるか、校長としては戦々恐々としていますが、いただいた評価やご意見を真摯に受け止め、参考とさせていただきながら、改めるものは改め、改善できることは改善し、これは!?!とといった内容は丁寧に説明をしたいと考えています。ご意見によっては喫緊のものもあろうかと思しますので、その際は直接連絡を差し上げたいと考えています。

回答がまだの方は、宜しく申し上げます。

☆☆ 毎週水曜日は家読の日！（石小版「いしかわの時間」）

- ☆ 毎週水曜日は、家で読書をしましょう。
- ☆ 毎週水曜日は、メディアをコントロールしましょう。
- ☆ 毎週水曜日は、宿題を出しません。（原則）



石小では今年の学校教育目標（進んで学ぶ子ども）の柱の一つに「日常の読書の習慣化」を掲げてきました。朝に読書の時間を位置づけ、毎週金曜日には「石川読み聞かせの会」の方々が読み聞かせを行い、図書委員会が中心となり様々な企画をし、更に夏休みには、町の図書館や自治センターとコラボレーションする等、スタッフ一丸となって「読書に親しむ子」の育成に努めてきました。成果も着実に表れています。一方で漫画や図鑑などへの偏りが見られる等の課題も出てきました。高学年になるにつれまとまった時間がとれず、一冊の本を読み終えることが少ない現状もあります。そこで、更に読書を身近なものにする取り組みとして、12月より、水曜日は家読（いえどく）の日とします。

学校の本を持ち帰ってもよし、家の本を読んでもよし、教科書でも構いません。家でじっくりと本に親しむ時間にしてほしいと思います。メディアの時間をコントロールすることで、家族での会話も増えるといいのですが…。その代りではないですが、水曜日は原則としてノー宿題とします。スタッフからは、宿題がない分ゲームの時間が増えるのでは…との心配の声も上がりましたが、そこは子ども達を信じることにします。12月11日が第1回目ですが、実はまだ子どもたちには公表していません。さてさて、どんなリアクションをとるのか楽しみです。条件整理はおいおいとして、とにかく実施したいと思います。ご家庭でのご理解とご協力をお願いします。

※裏面もご覧ください

全校集会校長のはなし（当たり前を当たり前…）

令和6年11月25日（月）

※ インフルエンザの流行の兆しを確認されたため、急遽、クリスタルホールでの全校集会を放送に切り替えました。例によって原稿どおりの話にはなりませんでしたが…、以下原稿を原文のまま紹介します。

この日、いつもは歩いて登校する高学年の子が、珍しく車から降りてきました。

あら珍しい、今日は車!?

そう、お母さんがお休みだから…

そうなんだね、たまにはいいね。

とても嬉しそうに笑顔で答えたその子は、毎日学校まで2kmの道のりを歩いて通います。友達と二人での徒歩通学ですのでいろいろ楽しい話をしてくるのでしょうか、必ず明るいあいさつが返ってきます。だから、校長先生は二人に合うのが毎朝楽しみです。

石小では、決められた方法（バス・徒歩）での通学を奨励しています。事情がある場合は車での送迎をもよいことにしています。それは、「食う・寝る・歩く（遊ぶ）」は、生活の基本だからです。毎日決められたバスに乗るには、早めの準備が必要ですし、集合場所まで歩くとなるとなおさらですね。徒歩での登校は季節を五感で感じることもできます。歩くことで脳は活性化され、学習の入りもスムーズになります。もちろん強制ではありません。お家の都合もありますし、安全面での不安もあります。しかし、最近は何、寒さが厳しいのに、徒歩で登校する子が少しずつ増えてきています。車での送りでも、学校近くでなく少し遠くで降りて歩く子もいます。とても良いことですね。

さて、さっきの高学年の子ですが、**当たり前**に毎日歩いているからこそ、たまの車の送りに感謝の心も芽生えるのでしょうか。下車後は、お母さんに何度も笑顔で手を振っていました。

当たり前のことを**当たり前**にしていると、ほんの小さなことも大きな喜びになるのでしょうか。「**当たり前が当たり前**」でなくなるからですね。

では、これから校長先生が**当たり前**のことを言いますから、**当たり前**にできているかどうか心の中でチェックしてみてください。

- 靴のかかとを踏まない。下駄箱の靴はそろえる。
- 金曜日には運動着・歯ブラシ・上履きを持ち帰る。
- 食事はできるだけ好き嫌いなく食べる。
- あいさつは、速く・明るく・遠くからする。（は・あ・と）
- 横断歩道は手をあげてわたる。
- 友達を呼ぶときは敬称（さん・くん）をつける。
- 夜の9時には布団に入る。
- ゲームは家の人と決めた時間を守る。その他…。

どうですか？ちょっとしたことですが、**当たり前**にできているでしょうか!?!?できている人は習慣化されているということですね。他にも**当たり前**はたくさんありますが、残り1カ月の2024年、できるところからいいですから「**当たり前**のことを**当たり前**」にして、小さなことも大きな喜びに変えられるようにしましょう。

お話を終わります。



放送ですので、子ども達に上手に伝わったかどうか不安ですが、2024をしっかりと締めくりたいと思います。インフルエンザの流行も気になりますが、引き続きよろしくお祈りします。